

# 各福祉委員会の活動

2



# 02

## 中部地区 各福祉委员会活动



# 02

# 中部

- 刈谷西部福祉委員会
- ホットとうぶ推進委員会
- 元刈谷福祉委員会
- 熊地区ふくし連絡会
- 小山ふれあい推進委員会
- 重原福祉委員会
- 桜区福祉協議会



# お宝さがし ウォーキング

## 活動概要

- ・自治会、公民館と協力して実行委員会を組織。
- ・遺産や名所を巡ってクイズやゲームに挑戦しながら、住んでいる地域のことを楽しく知ることができる。
- ・地域住民の交流の場にもなっている。

## 活動に至った背景（課題）

- ・市民協働課の交付金を使用して開催したイベントを、福祉委員会が主体となって引継ぎ開催することになった。



## 防災マップの作成

### 活動概要

- ・ 組長と民生委員が主体となり、地区の住宅地図に、避難行動要支援者名簿に記載のある世帯等の情報を落とし込む。
- ・ 完成したマップはそれぞれが保管し、要支援者の居場所を把握できるようにする。

### 活動に至った背景（課題）

- ・ 地区と民生委員・児童委員に避難行動要支援者名簿が配付されたが、地区内の要支援者の情報が一目で把握できるようなものがなかった。



# 交流サロン ホットとうぶ

## 活動概要

- ・市民館にて、子育て中の親子を対象とした子育てサロンを月1回開催。
- ・社協の作業療法士が参加することで、発達等の相談に対応できるようにしている。

## 活動に至った背景（課題）

- ・刈谷東部地区には子育てサロンがなく、子育て世代が市民館を利用することが少なかった。



## クイズ大会の開催

### 活動概要

- ・ 地域に関するクイズを出題するイベントを開催し、地域の交流の場を作った。
- ・ 今後も防災に関するクイズや体験を取り入れ交流の場を目的に開催する。

### 活動に至った背景（課題）

- ・ 地域の交流の場を作るために、まずは交流サロンホットとうぶにあわせて小学生対象のクイズ大会を開催した。



## 父と子の料理教室

### 活動概要

- ・小学生の子どもとその父親を対象に料理教室を開催。
- ・父親の料理の腕前を上げるだけでなく、父子のふれあいの場や、父親同士のつながりの場の提供とした。

### 活動に至った背景（課題）

- ・母親の不在時に仕事をしながら家事をすることに苦戦する父親が増えている現状がある。
- ・ホットとうぶ推進委員会の活動に協力してくれているボランティアから提案があり開催することになった。



# 防災マップの作成

## 活動概要

- ・災害発生時支援が必要な方のリストを活用し、防災マップを更新する。

## 活動に至った背景（課題）

- ・民生委員・児童委員のみで要支援者の見守りを行うことは難しく、見守りの目を増やしたいという思いがあった。



# 要支援者の見守り活動

## 活動概要

- ・ 組長・班長が要支援者へ訪問して顔合わせを行うことで、日常的な見守りができる環境を整えている。

## 活動に至った背景（課題）

- ・ 民生委員・児童委員のみで要支援者の見守りを行うことは難しく、見守りの目を増やしたいという思いがあった。



# 広報誌の発行

## 活動概要

- ・年に3回、元刈谷福祉委員会の広報誌を発行し地区回覧した。
- ・内容は元刈谷福祉委員会の紹介や、ご近所同士の助け合いについて 等。

## 活動に至った背景（課題）

- ・元刈谷福祉委員会の認知度を向上させたい。
- ・広報誌をとおして住民にご近所同士の助け合いやつながりの意識を向上させたい。

元刈谷福祉委員会だより

令和7年5月末日  
個別配付  
会長 井野宏和

### ご近所の助け合いを目指す元刈谷福祉委員会

地域の中の助け合い活動を育てていくための組織として、刈谷市社会福祉協議会の支援を受けながら、元刈谷福祉委員会は5年目を迎えました。元刈谷地区は組長や公民館、女性部等の活動が盛んなので互いに連携しながら活動を進めています。

「地域の福祉」とはご近所が助け合い、仲よくすることです。とくに一人では避難できない方達への平時の見守り活動や発災時の手助けを近所に住んでいらっしゃる方達にお願いします。

「向こう三軒両隣」という言葉が薄れてきました。いざというときは遠い親戚より近くの他人が重要です。元刈谷地区を今まで以上に安全で住みよいまちづくりをしましょう。

元刈谷地区の自治会加入率は高くありません。災害が起きたときには、自治会加入に関係なく、近所同士がお互いに助け合う地区になることを願っています。

## 互近助

の気持ちで日頃の見守りと災害時には支援を

ケーブルテレビキャッチの放映より

高齢者には	ゆっくり話しかける
車椅子やけが人には	複数の人で対応する
目の不自由な人には	常に声かけ、一緒に行動
耳の不自由な人には	身振り筆談で正確な情報伝達
外国人には	やさしい日本語を使い孤立させない

### <主な活動計画>

- ・災害時に支援が必要な人と組役員との面談 6月
- ・広報誌の発行 年3回予定
- ・助け合い活動の仕組み作り 年間を通して

### <活動予算>

- ・社会福祉協議会からの補助金（年間8万円）

あなたのお名前 

見守り担当者の名前と連絡先

近所の人  連絡先 民生委員  連絡先

# 目くばり・気くばり・ 声かけ運動

## 活動概要

- ・ 回覧板等を通して、以下のことを地域住民に呼びかける。
- ① 登下校時に家の前を出て、地域全体で子どもを見守る。
- ② ご近所さんとあいさつをし顔見知りになる。

## 活動に至った背景（課題）

- ・ 助け合い・支え合いができる地域にするためには、住民同士の日頃からのつながりを深める活動が必要と考えた。

つながりのある熊地区にする第一歩

### 目くばり・気くばり・声かけ運動

- 登下校中の子どもたちに「行ってらっしゃい」「おかえりなさい」と声をかけましょう！

  - ◎ 子どもたちと大人のつながりが強くなり、安心して登下校ができます。
  - ◎ あいさつには犯罪を未然に防ぐ効果が期待され、安全で安心なまちになっていきます。
- ご近所さんとあいさつをしましょう！

  - ◎ ご近所さんと「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」時に「お元気ですか？」と声をかけあいましょう。
  - ◎ あいさつを交わすだけでも、お互いに顔を覚えやすくなって自然と仲良くなるきっかけになります。
  - ◎ ご近所さんと顔見知りになれると、いざという時に助け合える安心感が生まれます。
  - ◎ 簡単なあいさつでも、人とのつながりを感じ孤立を減らすことができます。

一人ひとりのちょっとした心がけで  
熊地区をより暮らしやすく明るいまちにしましょう！！

熊地区に笑顔と活力を！

裏面も見てね

令和8年3月1日  
熊地区ふくし連絡会

# つながりのある地域づくり に役立つ講演会

## 活動概要

- ・福祉に関する講演会を開催。
- ・テーマはふくし連絡会にて話し合い、地域課題に合わせたものにしており、年度ごとに異なる。（過去実施テーマ：フレイル予防、小学生による研究「幸せについて」発表 等）
- ・講演を聞くだけでなく、グループワークなど参加者同士交流できる時間も作っている。

## 活動に至った背景（課題）

- ・地域のつながり作りに関する活動の一環として、福祉に関する講演会を主催することにした。



# 歩け歩け大会での ふれあいブース実施

## 活動概要

- ・「歩け歩け大会」にて、多世代交流を目的に「ふれあいブース」を実施。
- ・内容は、わなげ、紙飛行機飛ばし等、年度によりさまざま。

## 活動に至った背景（課題）

- ・もともと多世代交流を目的としたサロンを開催していたが、コロナのため中止になってしまった。
- ・サロンに代わる活動として、地区行事である「歩け歩け大会」にて多世代交流の要素を盛り込めないか検討した。



# 福祉に関する講演会

## 活動概要

- ・地域住民にむけ福祉に関するテーマで講演会を開催。
- ・テーマは福祉委員会にて話し合い、地域課題に合わせて決定するので年度により異なる。  
(過去実施テーマ：認知症)

## 活動に至った背景（課題）

- ・重原地区が地域住民同士助け合い、誰にとっても暮らしやすい地域となるよう、福祉に関する理解を深めるため開催することとなった。



# 地区行事での 福祉委員会ブース実施 活動概要

- ・地区行事（防災に関するイベントや餅つき大会等）にて福祉委員会ブースを実施。
- ・内容はボッチャ体験、福祉委員会活動紹介ブース。

## 活動に至った背景（課題）

- ・地域住民に重原福祉委員会を知ってもらう為。



# 個別避難計画者との 顔合わせ

## 活動概要

- ・福祉委員会が支援し、個別避難計画者と地区委員、班長が顔合わせをする。
- ・顔合わせの際にはお土産のゴミ袋と福祉委員会紹介チラシを渡す。

## 活動に至った背景（課題）

- ・防災の基礎となる「日頃のつながりづくり」を行う（顔見知りになる）ことを目的に実施するに至った。



## 重原福祉委員会です♪

防災の基礎となる「日頃のつながりづくり」を目指し、地区委員会と協力して災害が起きた時に手助けが必要な方にごあいさつに伺っています。



### 重原福祉委員会とは

- ・重原地区の住民の皆様が幸せな生活を送る手助けをする組織です。
- ・重原地区内で活動している各団体との連携をとり、地域の課題やその解決方法をみんなで考えています。

### メンバー

地区委員会、公民館、民生委員・児童委員、主任児童委員、いきいきクラブ（巴会）、女性部、少年部、自主防災会など

### その他の取り組み

#### ○福祉に関する講演会

令和7年度テーマ「認知症っぼい？方を地域で支える講演会」

講師：オレンジパラソル、刈谷中部地域包括支援センター

寸劇を交え、分かりやすく認知症の方への対応方法を学びました。

#### ○ポッチャ体験ブースの運営、重原福祉委員会の活動紹介コーナー

重原子ども達が地域とつながる大餅つき大会にてポッチャの普及啓発、福祉委員会の周知を行いました。



訪問者名

名前：\_\_\_\_\_

## さくらカフェ

### 活動概要

- ・民生委員・児童委員主催の認知症カフェに協力。
- ・協力金100円で飲み物、お菓子を提供。
- ・毎月20名以上が参加し、地域住民だけでなく、GH利用者や包括職員も参加している。
- ・スマホ教室を年1回開催している。

### 活動に至った背景（課題）

- ・地域の人たちの交流や情報発信の場、またお年寄りの閉じこもり防止や生きがい作りの場にしたいという思いから始まった。



# いきいき百歳体操

## 活動概要

- ・桜市民館にて月に1回、「いきいき100歳体操」を開催。
- ・社協の理学療法士が参加しており、体操のあとはお茶やお菓子を楽しみながら健康講話を聞いたり、健康相談をしたり、おしゃべりをしたりして過ごしている。

## 活動に至った背景（課題）

- ・「いきいき100歳体操」という体操のDVDと手足につけるおもりを地区で購入したが、活用の機会がほとんどなかった。
- ・気軽に体を動かせる場がなかった。



## ボランティア部

### 活動概要

- ・ 人手が足りない地区行事や桜区福祉協議会の活動を対象に、入部してくれた方へボランティアの案内をする。
- ・ 部員へはLINEやメールでボランティアの募集をする。
- ・ ボランティアの参加は自由で、自分のスキマ時間を利用し参加したい活動に気軽に参加できる。

### 活動に至った背景（課題）

- ・ 地区活動の担い手不足という課題に対し、「スキマ時間に自分のできる内容のお手伝いをしたい」という住民の声と「地域活動の担い手が足りない」という地区の声をマッチングできる仕組みを作った。

